

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 女満別空港高压ケーブル更新工事

開札年月日 令和6年8月2日 （落札決定日 令和6年8月19日 ）

入札執行官署 東京航空局

落札金額 ￥33,880,000 -

落札者 株式会社北栄電気工業

予定価格 ￥47,806,000 -

積算額 ￥47,806,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥43,460,000 -

調査基準価格 ￥43,978,000 - 調査基準価格の100/110 ￥39,980,000 -

基準評価値 230.096

低入札価格調査実施済 第1回 落札

| 入札参加者 | 評価点 (満点111点) | 第1回入札 | | | 第2回入札 | | | 摘要 |
|------------|-----------------|------------|---------|----------------|-------|-----|----------------|--------|
| | | 入札金額 | 評価値 | 評価値 ≥ 基準評価値 | 入札金額 | 評価値 | 評価値 ≥ 基準評価値 | |
| 株式会社北栄電気工業 | 100.0 | 30,800,000 | 324.675 | ○ | | | | 第1回 落札 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。

※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

低入札価格調査の実施概要

工 事 名 : 女満別空港高圧ケーブル更新工事

調査を実施した業者名・住所 : 株式会社北栄電気工業 北海道二海郡八雲町栄町1-28

| 項 目 | 内 容 |
|----------------------------------|---|
| ① その価格により入札した理由 | <p>本工事において割合の多い電気設備工事は下請業者を入れず、自社施工を行うことにより工事費及び共通費のコスト削減を可能とした。</p> <p>加えて、入札価格の大半を占める高圧ケーブルにおいては、継続取引業者との協議により、安価で資材を調達することが可能となったため、当価格による施工が可能と判断し入札を行った。</p> |
| ② 契約対象工事付近における手持工事の状況 | 本工事現場付近の手持ち工事はないことを確認した。 |
| ③ 契約対象工事に関連する手持工事の状況 | 該当なし。 |
| ④ 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件） | 調査対象者の会社で資材を一括購入し、作業時に購入先から直接工事現場に搬入するのを確認した。 |
| ⑤ 手持資材の状況 | 本工事では手持資材の使用はないことを確認した。 |
| ⑥ 資材購入先及び購入先と入札者との関係 | 資材の購入先である仕入業者は、調査対象者と30年以上にわたり継続して取引している会社であるとのこと、さらに仕入業者はケーブルメーカーとも継続的に取引していることから、安価な価格で納入することができるのを確認した。なお、使用する資材は、ケーブルメーカーの製品、発注仕様どおりのケーブルサイズを使用するのことから発注仕様を満足しているのを確認した。 |
| ⑦ 手持機械数の状況 | 本工事に必要な手持機械は自社で確保しているのを確認した。 |
| ⑧ 労務者の具体的供給見通し | 配置人員として、他所での高圧ケーブル工事の経験がある現場代理人を配置する計画であり、主体職種になる電工は自社社員を確保しており、問題がないのを確認した。 |
| ⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者 | 国（自衛隊、気象庁、独立行政法人等）、地方公共団体（北海道、八雲町）等、24件受注している。 |
| ⑩ 経営内容 | 過去にも官公庁発注の工事を受注しており問題無い。 |
| ⑪ 1から10までの事情徴収した結果についての調査検討 | <p>直接工事費において本工事における必要となる労務費は適切に計上されているのを確認した。</p> <p>また、材料費は、当局積算に対し、約60.3%となっているが、仕入業者がケーブルメーカーと継続的に取引していることから安価な価格でケーブルを納入することができ、その結果、調査対象者も仕入業者から安価な価格で納入することができ、低減を図っているのを確認した。なお、工事数量は適切に計上され、使用する資材については、発注仕様を満足しているのを確認した。</p> <p>共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の間接工事費は、当局積算と調査対象者に価格差はあるものの、下請業者を入れず、自社施工としたことで各経費率を低減を図った結果であり、妥当な範囲と考えられる。</p> <p>よって、当該調査対象者の入札を有効とし落札者として問題ない。</p> |
| ⑫ 公共工事の成績情報 | 過去の実績において概ね良好に施工されている。 |
| ⑬ 経営状況 | 特に問題なし。 |
| ⑭ 信用状況 | 特に問題なし。 |
| ⑮ その他の必要事項 | 特になし。 |